

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	現在、法人の経営理念を基本に運営され、全施設で応用可能な内容となっているが、グループホーム独自の理念としては作成に至っていない。		今後、ホームの特長を活かした理念の作成が望まれる。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の再構築に向けて、模索の段階。 (現在、法人の経営理念を基に実践中。)		理念を掲げる事により、理念の共有・実践に活かしたい。
2. 地域との支えあい					
3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	併設の特養との年3回の合同行事を通じ、地域の方々の参加を得ている。又、（一昨年には）近くのホンダ学園のもちつき大会にも参加。		地域活動の情報を集め、積極的に参加されたい。又、認知症のセミナーなどを開き、地域の人々との結びつきを深める機会を作ることを提案する。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>一昨年の指摘（水分量の把握 水分表作成）に関しては改善。玄関の施錠については、開放に向けて取り組み中。</p>		<p>指摘が続いている玄関の開放について、実施に向けての工夫・対策作りを望む。</p>
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヵ月に1度の推進会議において、入居者の日々の生活をスライドを用い、報告している。家族からの質疑応答も活発。議題は、副主任が提案。</p>		<p>入居者本人が楽しんで生活できるよう、会議での意見を活かして行って欲しい。又、地区の民生委員や老人会、婦人会などにも呼びかけを多くし、取り組みを広めていただきたい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議の資料を渡し、近況報告を行っている。（推進会議が日曜日のため市町村担当者には出席して頂けず）</p>		<p>市民福祉を推進する自治体との連携はとても重要。事務所の実情や取り組みを常に伝え、積極的に関係作りを行ってほしい。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時や2ヵ月に1度の行事の折に、報告を行っている。面会頻度の少ない家族に対しては、ホーム便りや電話連絡等で報告。</p>		<p>ホーム便りを送付する際には、入居者毎、個別に近況等一筆加えると、ご家族も安心され、あたたかみも増し（家族にも）喜んでいただけると思う。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情や意見は、面会時に口頭で行っている。苦情箱の設置はあるものの、意見は入っていない。</p>		<p>推進会議の前に家族だけの茶話会的な話し合いの場を設ける事（親睦を深める為にも）を提案する。苦情・不満が出た場合は、苦情・不満の要因 改善対策 回覧とし、書面に残すこと。苦情の解放が重要。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>新入職員の育成に努め、職員の入れ替わりが無いよう努めているが、まだ安定した状態とはいえない。</p>		<p>異動や離職は入居者のダメージも多いので、最小限に抑える対策と対応の努力を望む。</p>
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>7月より、法人内全職員を対象に入職研修（認知症・ケアについて）を実施。</p>		<p>職員に対して、認知症介護実践研修を早期に受講出来る様、研修計画の策定を望む。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>2～3ヶ月に1回、GH交流会を実施し、意見交換の場を設け、サービスの向上に努めている（役職のみ）。</p>		<p>現在、職員数の減少で、交流が足りていないという事だが、他のGHとの交流によって得る事も多いので、定期的な実施に向け、取り組んでいって頂きたい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>家族の意見を確認の上、本人が困っていることを日々の会話の中より見極め、生活援助計画のプランを立てている。</p>		<p>日常の本人との会話や家族の要望などを書面に残すとよい。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>家事全般において声かけをして出来る事はしてもらっている。料理なども教えてもらったりしている。</p>		<p>得意分野で力を発揮してもらえる様、又、そうした場面をより多くもてるように、職員はセッティングや工夫・声かけに気を配ってもらいたい。</p>
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの状態を観察し、思いを伝えるににくい方の代弁者となるよう個々のシグナルを読み取るよう努めている。</p>		<p>職員によって気づきにばらつきがあるのが現状。まずは各リーダーが中心となって、職員にいろいろな面で伝達や指導をして欲しい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>家族の意見を聞き、ユニット全体で介護計画を立てている。</p>		<p>ケアプランは精神面と身体面に分けて立てる事を提案する。その場合には、家族の思いも加味することが重要である。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的（4ヶ月に1回）に、又、状態変化が顕著な都度行い、迅速にプランを直している。</p>		<p>本人と家族の状況が日々変化している中で、現状と介護計画にズレが生じない様、又、変化が生じた場合も臨機応変に計画が作成できるよう、本人・家族・関係者との話し合いを常日頃から大切にされたい。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>GHからの移転に関しては、特養への入所相談や事前申し込みを促すなど、要望に応じて支援を行っている。</p>		<p>入居者と家族が安心して暮らし続けて行ける様、複数施設を有する法人としての特性を活かして、多様な支援の提供を望みたい。</p>
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>家族の承認を得、専門医の必要な入居者には受診してもらっている。</p>		<p>受診結果の報告等も、家族に対して書面などを活用し、密に行う事を望む。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>家族と話し合う機会を設けている。又、特養施設への申し込み相談にも応じている。</p>		<p>本人の状態が重度化する前に、意思を確認できるうちに家族を交え、話し合いをしておく事は重要。話し合いの内容は、文書化しておくことが重要である。</p>
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者を尊重し、丁寧な声かけをしている。個人記録等情報ファイルは職員室で保管し、トイレの声かけなどには配慮している。</p>		<p>今後とも、プライバシーの確保には、徹底されたい。</p>
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>個々のペースに合わせた関わりをしているが、その日の希望に添ったの支援は、職員数等の関係で、十分とは言えない。</p>		<p>職員数等の関係で、止むを得ない部分もあるが、なるべく一人ひとりの希望に添える様、努力してもらいたい。</p>
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>好まれるメニューを中心に献立を作成。食事の準備、片付けなど一緒にしている。</p>		<p>職員も、一緒のメニューを入居者と楽しみながら喫食することが大切である。又、おやつに関しては、楽しみや水分補給の必要性からも、機能性食品の活用など工夫をして、全フロアーで実施していただきたい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は2:30から可能。入浴の希望があれば、希望に添って対応するようにしている。		入居者が安心して、楽しんで入浴出来るよう、今後共、個々の支援を続けて欲しい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	散歩やカラオケなど、個々に合った楽しみ事を提供している。		窓から見える竹やぶの眺めや空間は、落ち着いていて素晴らしい。環境を変える為に、たまには、1階のデイ・ルームが空いている時は、デイ・ルームを利用したらどうか。
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は、御弁当を持っての外出や喫茶外出等、希望に応じた外出をしている。		気分転換やストレスの発散だけでなく、地域の人々の理解や協力を得る為にも、外出の支援は重要と考える。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の施錠に関しては、解放に向けての方法を模索中。夜間の解除はむずかしい。		職員の見守りの方法等、鍵をかける事を常態化させない工夫を考えたい。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、消防署立合いの下、消防訓練を実施。併設の特養の厨房にて緊急災害時の水や食料品の確保を行っている。		緊急災害時の水や食料品は、ホーム独自で確保しておきたい。毛布や薬品もあればより可。地域の人との共同訓練も実施されたい。夜間の災害対策にも重点を。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	職員が交代でメニューを作成。個々の食事摂取量・水分量はチェック表にて記入・把握している。		メニューは管理栄養士や市町村の栄養士などによるチェックを取り入れたい。職員によるメニュー作りは、栄養摂取量や栄養バランスを考える上からも大変な作業と思う。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	季節感を感じる小物や、入居者と作った手芸品などを飾っている。		廊下の飾りや個室のネームプレートなど、手作りの物があふれ、生活感や季節感を感じとれた。
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	馴染みの家具や小物で、各居室それぞれに個性があり、居心地よく過ごせる工夫がされている。		家具のみならず、それぞれの入居者の好みや生活に合わせた物が置かれ、各居室の居心地の良さを感じられた。

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。